

事例.1

半月玲子(55)さんは、姑の様子がおかしいと気付きはじめて3か月になる。共働きの玲子さんは、姑のハルさんと同居し始めた7年前から毎日昼食の準備をしてから、出勤する。半年前くらいから、昼食を食べた形跡がなく、何となく元気がない。1番風呂が大好きだったのに、風呂に入るのも面倒臭そうで、風呂に入らない日もある。「お風呂に入らないの?」と何度も聞くと「今日は入らない」と毎日返答するので、それ以上は言ってもケンカになるので、強く言えない。着がえることも面倒なようで、風呂にも入らず着替えもしないので、近所から噂されると困るのでやめてほしい。

夕飯はハルさんが作ることになっているが、最近は料理の味が少し変わり、日によって甘かったりしょっぱかったりする。子どもたちにも「おばあちゃんの料理はまずくて食えない!」と言っており、止む無く、玲子さんが夕飯の支度をするようになった。庭の手入れをすることが趣味で、草が一つも生えないほど手入れをしていたが、最近は、草むしりもあまりしていないようで、庭が荒れている。花を育てて展覧会に出品していたが、今年は、菊の手入れもしなかった。昼間何をしているかわからないが、一人で過ごしている時は、どうも寝てばかりいるようである。起きていてもコタツに伏していることが多い。

ハルさんは、人づきあいがよく近所の人たちとも交友関係があるが、高齢になり亡くなったり、病気になったりする人もいて、最近は、近所づきあいもほとんどない。訪ねてくるのは、近くに住む姉妹や二男くらいである。ハルさん自身も耳が遠くなっているので、他人とのコミュニケーションは面倒になっているようだ。

現在、介護サービスはショートステイを時々利用している。玲子さん夫妻が泊りがけで出かけるときなどをお願いをしている。

Ⅲ 相談シート 記入例 1

相談者: 嫁	担当者:	家族構成: 息子、嫁、孫2人
ご本人: 大正 昭和 年 月 日 歳	介護度: 要介護2	記入日:

3 認知症の状態 [D]
寝てばかりいる。
何度も同じことを聞く。

ご本人の気持ち
朝か昼か夜かわからん。
なんだかだるいわ。

現在の健康状態 [Ki] (身体と心の状態、視力低下や難聴などの感覚機能などのこと)
耳が遠い。

ご本人の気持ち
何か言っとるけどわからん。

1 家族が現在困っていること
ご飯を作って置いてあるのに
なかなか食べようしない。

4 習慣・生活歴 [S2] (生活パターン・好きなこと・嫌いなこと)
お花を育てるのが好きだった。
寝については厳しかった。
お料理が得意だった。

ご本人の気持ち
たまには外に出たいけど
怒られるし、台所にも行けん。

ご本人の性格 [S1]
優しい。
にぎやかな事が好きだった。
みんなに頼られていた。

ご本人の気持ち
なにも出来なくなった。

2 その時のご本人の様子
キョロキョロして食べようと
しない。
時間が経つと机に伏してしまう。

5 本人を取り巻く人たちとの関わり [K2]
近所の姉妹や息子たちが
たまに様子を見に来てくれる。
住み慣れた家を離れた。

ご本人の気持ち
孫はかわいい。

環境 [K2] (物理的なこと住環境など)
たまにショートステイに行くが、
お風呂に入るのを嫌がる。

ご本人の気持ち
知らん人がいっぱいおる。

介護者の状況・思い
性別(女) 年齢(55歳) 関係(嫁)

最近何をすることも面どくさそうにして
なかなか言うことを聞いてくれない。
ご飯も食べないし、風呂にも入ら
ないし、何度も同じことを言わせて
イライラしちゃう。
病気になったり、汚なくてたら近
所の叔母さんたちに何言われるか
わからない。
息子たちは大きくなってお金がかか
るからパートも出ないといけないし、
せめてご飯くらいは早く食べてほしい。
昔は孫のめんどうをよく見てくれた
おばあちゃんだったのに、どうして
こんななっちゃったの?

6 ご本人はどうしたかったのでしょうか
一日ゴロゴロ寝てばかりいるし、
することもないので、あまりお腹が
すかないのかもしれない。
家族でにぎやかに食卓を囲めば
少しぐらい食べてくれるかもしれ
ない。

7 今後の関わり方のヒント
出来るだけおばあちゃんと一緒にご飯を準備したり、家族で食べたりしよう。
ショートステイでは庭いじりをしてみよう。汗をかいたり手足が汚れたら
お風呂に入るかも。

